

まちづくりの提言



平成23年9月

鹿児島市子どもミーティング

= 目 次 =

1.	事業の趣旨	1
2.	開催状況	1
3.	コーディネーター・サポーター	1
4.	活動状況及び提言	2
	1班「私設チェッカーズ 橋口隊」	2
	2班「GReeeeeeeN in the 鹿児島」	10
	3班「チームドリーム」	18
5.	子どもミーティングに参加して	26
6.	子どもミーティングに寄せて	37

1. 事業の趣旨

次世代を担う子ども達が鹿児島市のまちづくりについて、アイデアを出し、夢を語り合い意見交換を行う「子どもミーティング」を開催し、その意見を市政運営の参考とすることで、若い世代の市民参画を推進する。

2. 開催状況

第1回：7月28日（木）13:15-15:15 於. かがしま市民福祉プラザ
趣旨説明、市政概要説明（市政ガイダンスビデオ上映）
意見交換（オリエンテーション、活動計画協議など）

第2回：8月8日（月）13:00-17:00 於. かがしま市民福祉プラザ
まちづくり探検、意見交換（課題抽出、協議など）

第3回：8月12日（金）13:15-15:15 於. かがしま市民福祉プラザ
意見交換（協議）

第4回：8月25日（木）15:00-17:00 於. かがしま市民福祉プラザ
意見交換（まとめ・発表）

3. コーディネーター・サポーター

（コーディネーター）

かがしま近代文学館・メルヘン館 アドバイザー 石田忠彦氏
（鹿児島大学名誉教授）

（サポーター）

鹿児島県立短期大学 名誉教授 橋口晋作氏

南日本リビング新聞社 取締役営業局長 山内聡胤氏

NPO法人かがしま探検の会 事務局長 東川美和氏

4. 活動状況及び提言

1班 「私設チェッカーズ 橋口隊」



テーマ「鹿児島県の観光・文化施設を探検する」

サポーター 橋口晋作 先生

<u>リーダー</u>	<u>徳永晴香</u>	<u>(鹿児島女子高等学校)</u>
<u>班員氏名</u>	<u>馬場基広</u>	<u>(鹿児島商業高等学校)</u>
<u>〃</u>	<u>西原健翔</u>	<u>(鹿児島玉龍中学校)</u>
<u>〃</u>	<u>杉野未来</u>	<u>(鹿児島純心女子中学校)</u>
<u>〃</u>	<u>福德七海</u>	<u>(吉野中学校)</u>
<u>〃</u>	<u>谷元柚月</u>	<u>(清水中学校)</u>
<u>〃</u>	<u>港咲喜</u>	<u>(南中学校)</u>
<u>〃</u>	<u>樋高武尊</u>	<u>(鹿大附属中学校)</u>

(1) 活動のねらい

1班では「鹿児島県の観光・文化施設を探検する」をテーマに決め、市立科学館など市民が利用している施設を中学生・高校生の視点から見つめ直し、これまで以上に多くの市民や観光客に親しまれ、来館してもらえる施設になるための提言を行うこととした。

(2) まちづくり探検

第2回ミーティングの中で、バスで各施設を訪問した。
施設説明で学んだ事や良いと感じた事などを、以下に列挙する。

[探検先]

① 市立科学館

- ・以前に比べプラネタリウムの機能が向上しているほか、いろんなテーマで映像システムと一体化させながら活用している。
- ・3D映像など子どもから大人まで楽しめる色んな実験が準備してあった。

② 市立図書館

- ・出生届をした時に本をプレゼントして、読み聞かせによる子育て支援を進めている。
- ・図書館で利用の少なくなった図書や保存期限の過ぎた雑誌を無償で市民に提供し、喜ばれている。(リサイクルブックフェア)
- ・赤ちゃんを連れた方や体の不自由な方のために、ベビーカーや車椅子の貸出をはじめ色々な配慮がなされている。

③ 維新ふるさと館

- ・観光施設として、多くの外国人にも分かりやすいように外国語による解説がなされている。
- ・夏休み期間ということもあり、大勢の親子連れや外国人が来館していた。

④ かがしま近代文学館、メルヘン館

- ・両施設とも今年3月にリニューアルされたばかりであるが、近代文学館は内装の配色が良く、居心地が良かった。
- ・メルヘン館は魅力的にできていて、自分達のような中高生でもはまりそうだった。

(3) まちづくり探検で気付いた課題

① 市立科学館について

- ・基本的に、小学校高学年程度を対象とした展示が多い。
- ・パソコン室は人気があるため、利用したくてもできない人が出ている。

② 市立図書館について

- ・中高生向けの読み物が少ない。
- ・視聴覚機器が少し時代遅れになっていると感じる。
- ・学習する生徒と読書する生徒が混在していて、お互いに居づらい思いをすることがある。

③ 維新ふるさと館について

- ・専門的な説明や解説が多いので、中学生には少し難しいと感じる。
- ・当日は雨が降ったこともあり、甲突川が濁り木屑などが流れているなど景観的に悪い面があったが、館と館の周囲が調和せず、全体として雑然とした印象を受けた。

④ かがしま近代文学館について

- ・施設の外観が目立っていない。
- ・1階の展示に比べ、2階の方は親しみ感が薄かった。

(4) 提言

提言1 市立科学館編

- ① 中高生は時代の流れに敏感なので、中高生向けにその時期の旬な科学技術を紹介するコーナーを設ける。
- ② IT技術はこれからさらに進んでいくので、特に中高生向けのコーナーとして、パソコン室を広くして内容を充実する。

提言2 市立図書館編

- ① 中高生の読書を推進するためには、中高生の興味のあるアニメ系の小説を増やし、まず読書に親しませることが大切である。
- ② 勉強するスペースと本を読むスペースを区分する。
- ③ できるだけ最新機器による視聴を楽しめるように、視聴覚機器の更新をする。

提言3 維新ふるさと館編

- ① 展示の解説は、子どもにも理解しやすいように平易な言葉で図や絵を使用した表現を心がける。
- ② 観光施設として施設の周囲の清掃に心がけ、施設の景観を乱さないよう、樹木の剪定などにも配慮する。

提言4 かがしま近代文学館編

- ① 施設の展示内容を紹介する掲示は、画像を入れるなど目立つようにする。また、特別展などは内容を想像させるような造形物を施設入口付近に設置するのも良い。
- ② 2階の展示は学芸員の方の解説が聴けるような装置があれば、理解しやすく、より親しめるように思う。

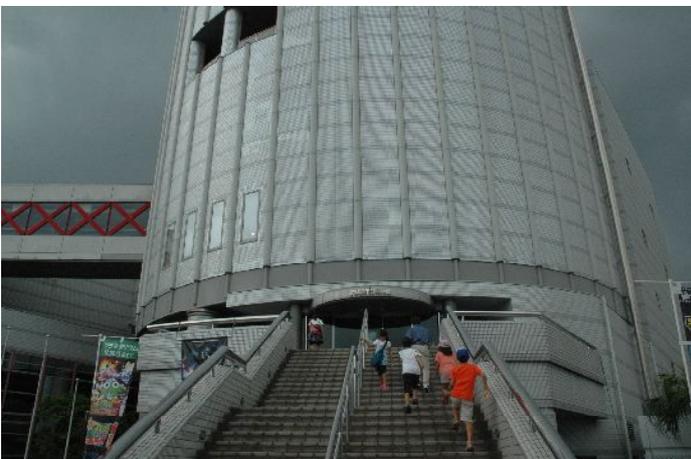
活動状況（1班）



第1回（7月28日）
松木園副市長のお話



活動計画協議
チーム名が決まりません…



第2回（8月8日）
科学館から探検スタート！



本がたくさんあります



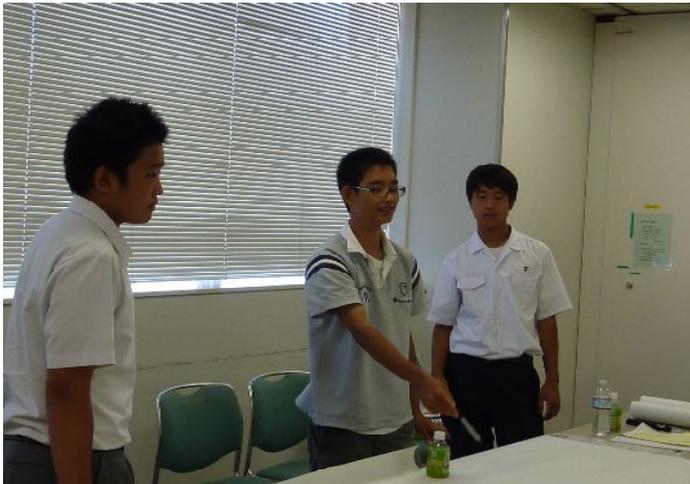
維新ふるさと館にてパチリ



今年リニューアルした
かごしま近代文学館



第3回（8月12日）
みんなで意見交換



発表資料の作成



真剣な表情です



第4回（8月25日）
全員で発表します



橋口先生の講評



にぎやかなチームでした

2班「GReeeeeeeN in the 鹿児島」



テーマ「人にやさしい、モノにやさしい、地球にやさしいまち」

サポーター 山内 聡 胤 先生

リーダー	松田 大智	(鹿児島中央高等学校)
班員氏名	清藤 有愛	(鹿児島女子高等学校)
〃	串間 夢加	(鹿児島純心女子中学校)
〃	宮原 和暉	(吉野中学校)
〃	中島 将武	(伊敷中学校)
〃	金田 皓旭	(皇徳寺中学校)
〃	若井 向日葵	(清水中学校)
〃	大角 早代	(鹿大附属中学校)

(1) 活動のねらい

2班は環境・リサイクルに関する提言をすることになり、探検先を協議した結果、「人にやさしい、モノにやさしい、地球にやさしいまち」をテーマに鹿児島市が行っている環境対策の現状を調べ、その改善点を探ることとした。

(2) まちづくり探検

[探検先]

① リサイクルプラザ

テーマのひとつである「モノにやさしいまちづくり」をリサイクルという点でとらえ、行政が行っているリサイクルの現状の把握と改善点の抽出のために訪問した。

② 清滝川通り・天文館公園

テーマのひとつである「人にやさしいまちづくり」を、人が憩う公園や歩行者道路などのハード面の環境整備としてとらえ、九州新幹線開業に伴い改修された清滝川通りと隣接する天文館公園を探検し、さらなる改善点を見出すこととした。

③ 鹿児島市役所本館（屋上緑化）及びみなと大通り別館（太陽光発電）

テーマのひとつである「地球にやさしいまちづくり」を屋上緑化と太陽光発電の整備面でとらえ、市の公共施設における整備状況を把握し、改善点を抽出することとした。

(3) まちづくり探検で気付いた課題

① リサイクルプラザ

- ・ペットボトルのキャップの取り外しの必要性が周知徹底されていない。
- ・市民のリサイクルに対する認識不足のため、ルール違反のゴミが多い。
- ・まだ使える家具などが、粗大ゴミとして捨てられている。

② 清滝川通り

- ・人通り（特に若者）が少ない。
- ・ベンチが少ない。
- ・ゴミ箱がないためか、川にゴミが捨てられている。

③ 天文館公園

- ・公園に段差がある。
- ・駐輪禁止の場所に、自転車がとめてある。
- ・若者が利用するスポーツ遊具などがなく、若者の利用が少ない。
- ・周囲に生垣があつて、公園の外から中が見えない。
- ・ゴミ箱が少ない。
- ・暗い。

④ 屋上緑化

- ・一般家庭では取り組みにくいので、企業がもっと取り組むべきであるが、そのための仕組みが足りない。

⑤ 太陽光発電

- ・太陽光発電を整備することで、電力供給における火力発電の割合が減りCO₂の排出が抑えられるといった、有効性のPRが不足している。

(4) 提言

提言1 リサイクルの推進について

- ① ペットボトルとキャップの分別を徹底するため、公共のゴミ箱には、ペットボトル専用のゴミ箱のそばに、キャップ専用のゴミ箱を設置する。
- ② より多くの市民にリサイクルの素晴らしさを知ってもらうため、資源物がどのようなものにリサイクルされるのかなど、コマースや看板・張り紙などでもっと積極的に広報する。
- ③ きちんと分別された資源物を、市で換金する制度を導入する。

提言2 天文館公園について

- ① 段差が多いので、バリアフリーな公園にする。
- ② 多くの人利用しやすいように、広い駐車場と駐輪場を設置する。
- ③ 外から公園全体を見渡せて、夕方になると時報の音楽が流れるような、子どもにとって安全な公園にする。
- ④ 若者の利用を増やすため、バスケットゴールを設置する。
- ⑤ ゴミ箱が1箇所しかないので、ゴミ箱を複数箇所設置する。
- ⑥ 緑は多いが、公園全体が暗く感じるので、花を増やして明るい公園にする。

提言3 清滝川通りについて

- ① 大きなベンチを設置する。
- ② 若者も楽しめるような場所にする。
(例)・川沿いの柵にガラスアートを取り入れる
 - ・イルミネーションをつける
 - ・子どもが楽しめるような仕掛けのある遊具を設置する
- ③ 清滝川にゴミが捨てられることがなくなるよう、通りにゴミ箱を設置する。

提言4 屋上緑化の整備について

- ① 今後3年間で500箇所を目標に、屋上緑化の設置を推進する。一般家庭では取り組みにくいので、民間企業の建物に屋上緑化の設置が増えるよう、企業に対して屋上緑化の効果を積極的にPRし、あわせて補助金制度についても広報する。
- ② 屋上緑化を設置した建物を対象としたコンテストを開催する。

提言5 太陽光発電の普及について

- ① 今後3年間で5,000箇所を目標に、太陽光発電の設置を推進する。そのために、テレビコマーシャルや民間のフリーペーパーを使い、市民に対して太陽光発電の地球温暖化防止に対する効果をPRし、あわせて補助金制度についても広報する。

活動状況（2班）



第1回（7月28日）
山内先生と初対面



活動計画について協議
キーワードは「やさしい」



第2回（8月8日）
リサイクルプラザにやっ
てきました



真剣にメモをとっています



清滝川通り



市役所の屋上緑化
芝生の感触を確かめます



第3回（8月12日）
みんなで意見交換



先生と相談しながら
発表資料の作成です



第4回（8月25日）
議論の結果を発表します



ただいま作戦会議中!?



他の班からの質問にも
答えます



お疲れさまでした

3班 「チームドリーム」



テーマ「鹿児島革命！観光客が足を運びたくなる夢のまちへ」

サポーター 東川美和先生

リーダー	麻生和宏	(皇徳寺中学校)
班員氏名	松田慶五	(鹿児島中央高等学校)
〃	橋あやか	(鹿児島女子高等学校)
〃	竹ノ下響生	(鹿児島玉龍中学校)
〃	坂口歌那	(鹿児島純心女子中学校)
〃	伊東佳穂	(西紫原中学校)
〃	野田佳奈映	(伊敷中学校)
〃	小牧優大	(鹿大附属中学校)

(1) 活動のねらい

私たちの班は、今春全線開業した九州新幹線の影響で多くの観光客が訪れているという報道に接して、自分たちの目で鹿児島中央駅や天文館を観察し、鹿児島が観光客へどう対応しているか、その思いがまちの中にどのように反映されているか、という点を重視して以下の場所を見学した。

(2) まちづくり探検

[探検先]

① 鹿児島中央駅

鹿児島の玄関口としての機能を果たしているか検証する。

② 歴史ロード

鹿児島市を訪れる観光客が多い場所なので、期待される「歴史観光」の雰囲気味わえるつくりになっているか検証する。

③ 鹿児島市交通局

初めて鹿児島を訪れた観光客が主要な観光地を巡る際に利用していると思われる「定期観光バス」、「シティビュー」、市電などの取組みを検証するとともに、鹿児島市の観光を開業当時から担ってきた鹿児島市電の資料館を見学する。

④ 天文館

通常から買い物客で賑わう鹿児島の中心市街地にどんなお店があり、観光客にどんな案内をしているかを検証する。

(3) まちづくり探検で気付いた課題

施設や機能はある程度充実しているが、私たち自身がよく知らなかったように、知らせる努力が十分でない部分もある。また、もう少し配慮があればもっといいのに・・・と、思う部分がたくさんあった。

① 鹿児島中央駅

- ・東口の階段は急勾配になっており、危ない。
- ・西口の表示はごちゃごちゃして分かりにくい。
- ・駅舎の入口が新幹線口なのかどうか分かりにくい。
- ・車イスの人が乗り場に行く時の進路が分かりにくい。

② 歴史ロード

- ・観光交流センターの通路は狭く、2階についての説明が少ない。
- ・川沿いの道にベンチがほしい。
- ・ガイドさんがいない。
- ・桜の情報も地図に載せたらよい。
- ・説明板が文字ばかりで読みづらい。
- ・歴史ロード自体が目立たない。

③ 鹿児島市交通局

- ・市電資料館はすばらしいが、存在は全く知られていない。
- ・観光電車の存在も知られていない。
- ・シティビューの台数が少ない。
- ・一日乗車券を買える場所が分からない。
- ・バス車内の両替機はもう1台ほしい。

④ 天文館

- ・歩いてみると、意外に空き店舗が多い。
- ・アーケードが縦横に連っており、道が分かりにくい。
- ・観光と特産品の情報ステーションは、全く目立たない。
- ・ゴミ箱が置いてない。

(4) 提言

提言1 もっと鹿児島らしさを感じられる演出を

- ① 鹿児島中央駅を「新幹線の始発駅」としてアピールする。
- ② ナポリ通りをナポリらしく。
- ③ スカイツリー並みの「鹿児島タワー」を作って、シンボルにする。
- ④ 鹿児島市電博物館を作る。(交通局にあるものをそのまま移設する。)
- ⑤ おしゃれなシティビューをもっとたくさん走らせる。
- ⑥ 白熊の自動販売機を置く。
- ⑦ 白熊・黒豚など特産品のパネルをあちこちに置く。
- ⑧ おいしいかごしま茶の給茶機を置く。
- ⑨ 偉人のオブジェだけでなく、特産品(さつまいもや黒豚)のオブジェを。
- ⑩ 離島の観光案内にも力を入れる。

提言2 何度でも足を運びたくなる天文館に！

- ① 歩道のあちこちにスプリンクラーを仕掛け、定時に水を噴出させる。
(スプリンクラー探しのイベントを実施する。)
- ② 天文館に地下道を張り巡らす。
- ③ 天文館に鹿児島県の歴史資料館を作る。
- ④ 天文館に焼酎博物館を作る。
- ⑤ 天文館のあちこちに星座図を貼る。(天文館だから・・・)
- ⑥ 天文館で自然体験できる一角を作る。
- ⑦ 天文館ならではのゆるキャラを作る。
- ⑧ チャリやスケボーの貸し出し
- ⑨ 受験生が勉強できるスペースを作る。
- ⑩ 歩道の所々にニコニコマークを付ける。(歴史ロードにあったもの)

提言3 おもてなしの心を表現する「まち」へ！

- ① バス停が分かりにくいので、案内板に音声TVガイドを付ける。
- ② 歴史ロードに観光ガイドを常駐させる。
- ③ 鹿児島県ミシュランガイドを発行する。
- ④ 街中で足湯体験
- ⑤ 休憩所やベンチを増やす。
- ⑥ 観光案内所では外国語対応(英語・中国語・韓国語)する。
- ⑦ お座敷電車を走らせる。
- ⑧ バスや市電の車内で、各停留所付近の観光スポットを放送する。
- ⑨ オススメの夜景スポットを紹介する。
- ⑩ 天文館とイオンを結ぶ100円バスを走らせる。

提言4 「鹿児島に住みたい！」気持ちを誘う体験の提供

- ① 歴史ロード(観光交流センター)で篤姫や西郷隆盛のコスプレ体験を
- ② 茶つき体験、農業体験、工房体験
- ③ 鹿児島自然体験ツアーを行う。
- ④ 鹿児島弁の達人との会話ができるツアーを行う。
- ⑤ 水族館のえさやり体験
- ⑥ まちの全景を見渡せる展望台を置く。

活動状況（3班）



第1回（7月28日）
石田先生のお話



3班のテーマは
「鹿児島革命!観光客が足を
運びたくなる夢のまちへ」



第2回（8月8日）
いざ、探検に出発！



鹿児島中央駅の
総合観光案内所



はい、あ〜ん♪



歴史ロードで発見！



第3回（8月12日）
アイデアを出していきます



第4回（8月25日）
発表へ向けて
ラストスパートです



いよいよ発表が始まります



たくさんのアイデアが
できました



東川先生も笑顔です



みんなで記念撮影

5. 子どもミーティングに参加して

【 1 班 】

○ 鹿児島女子高等学校 1年 徳永晴香

私が住んでいていつも思うことは、バスが南国交通しか通っていないこと、そのバスの本数が少ないこと、料金が高いことです。他に疑問に思うことがあります。それは、私の地元は鹿児島市内なのに市営バスが通っていないことです。約7年前に合併して鹿児島郡から鹿児島市になったので、市営バスにも通ってほしいです。

料金が高いと、あまりお金を持っていない人にとっては、不便だと思います。私もたくさん遊びに行きたいけれど、料金が高いのであまり行けません。バスの時刻もちょうど合う時間がなく、30分待ちになってしまうこともあります。

私が一番実行してほしいことは、市営バスを私の地元の方面にも運行することです。私が思うに、市営バスを運行すると、料金が安くなり、バスの本数も増えるなど、住んでいる私たちにとってたくさんの利点があります。

そして、バスを利用するお客さんが増加し、バス会社にとっても利点が増えると思います。

○ 鹿児島商業高等学校 2年 馬場基広

私はこの「子どもミーティング」を通して、1・2・3班みんないろいろなことを考えているんだなと思いました。

自分は1班で施設見学だったのですが、どうも納得がいきませんでした。どうして桜島という選択肢があったにもかかわらずに施設見学になったのかわかりませんでした。ですが、橋口先生は桜島を推していたが、多くの施設を見たいとの要望があったからだと言評のときに聞いて、納得しました。

私は、観光について、もう少し広報活動をしていけばいいと思います。首都圏のいろいろなところに観光PRの冊子を置いてもらえばいいと思います。
(首都圏に関わらず)

市も見落としていることがたくさんあるんだなとも思いました。

短い間でしたが、ありがとうございました。

○ 鹿児島玉龍中学校 3年 西原健翔

僕は、この子どもミーティングに最初は何となく参加していました。しかし、他の参加者が1回目の話し合いから自分の意見をはっきりと言い、びっくりしました。そしてまちづくり探検をし、そこで分かったことや問題点を新聞のようにしました。ここでも、積極的にどのような構成にするかなど、リーダーシップを取る人もいました。いろいろな施設についての意見が出て、それをまとめて、全体協議で発表しました。他の2つの班も、僕たちが気付かなかったことを発表していて、聞いていて飽きることがありませんでした。

この子どもミーティングを通して、今までは何も問題はないと思っていた市にいろいろ改善する所があると分かり、良かったです。とてもいい体験でした。

○ 鹿児島純心女子中学校 3年 杉野未来

私は子どもミーティングに学校の先生にすすめられて参加しました。最初は知らない人しかいないところで何かをするのは、すごく不安でした。

だけど、まちづくり探検をしているとき、いつもとは違う立場で客観的に自分たちの住んでいる町を見て、自分が少しでも役に立つことができるというのはすごいことだなと思いました。このような機会はめったにないので、すごくいい経験になりました。

私たちが探検したところは、リニューアルをした施設などです。そのなかごしま近代文学館は、1階がとても子どもに親しみやすい感じで、配色も明るくてよかったです。他にも時間があつたらたくさんの方のところに行ってみようと思います。

時間があつたら、また1人でいろいろなところに行きたいです。

○ 吉野中学校 2年 福德七海

私が提言するのは、大人も子どもも楽しめるまちです。

今回、鹿児島の施設を見て回ったところ、大人は楽しめるけど、子どもはどうだろうというところが多かったです。

なので、私は、鹿児島の施設が、子どもが行ってわくわくでき、かつ将来のためになることをすればいいのではないかと考えています。

たとえば、歴史に関する施設だったら、歴史上の人物が成し遂げてきたことをアニメにし、分かりやすい言葉で説明したり、着物や袴が着られるコーナーを作ったりすれば、子どもが歴史に興味を示して楽しめるのではないかと

なと思います。

観光客はもちろんですが、やはり第一に地元の人が楽しめて、かつ、何度も行きたいと思う施設にすることが必要です。そうすることによって、まちがもっと活性化すると思います。

○ 清水中学校 2年 谷 元 柚 月

思っていた以上に楽しくて驚きました。鹿児島に対する意識を高めることができました。また、同じ班の人とも仲良くなれて、交友の輪を広げることができました。

1回目はとてもぎこちなく進めにくかったのですが、2回目・3回目となるうちに、楽しく、意見が出てくるようになりました。4回目に他の班の個性あふれる発表が聞けて、うれしかったです。

また、機会があれば参加したいです。

○ 南中学校 2年 港 咲 喜

私達1班（私設チェッカーズ橋口隊）は、鹿児島市の観光・文化施設を探検してお話を伺ったり、すてきな所を探したり、もっとよくするために考えたりしました。2日目の観光・文化施設の探検はとても楽しみにしていたのですが、クラシックバレエのコンクールがあったため参加できませんでした。

3日目は、話し合いをしたり、意見をまとめたりしました。優しい班の友達が、気付いたことや学んだことを教えてくれたり、ワークシートを写させてくれたりしたので、話し合いについていくことができました。4日目は意見交換と発表をしました。緊張したためか、リーダーがメンバー紹介のときに私と西原くんの名前を言わなかったので、少しガッカリしました。同級生とは、すぐに仲良くなれて、ホッとしました。

このような活動に参加できて、とてもよい経験ができました。鹿児島について深く考えることができよかったです。本当にありがとうございました。他の学校との交流の輪ができたと感じています。

○ 鹿大附属中学校 1年 樋 高 武 尊

市が主に運営する4施設をめぐり、自分でも、なぜだろう、もっとこうしたらいいのでは、という考えができた。

科学館でのパソコン台数の増加、図書館の週刊誌の移動、その他のことを

発言できる場があってよかった。

また、市へそれを言える場をつくってもらって、とてもよかった。

子どもミーティングをふまえての提言は、

「施設への利便性の向上」

「子どもへの説明の強化」である。

アクセスがそこまで良くないというのがいえて、いつでも、どこからでも足を運べる、というのが良い公共施設だと思う。

子どもには、リニューアルしたメルヘン館のような、体験を通してその世界観に触れられる、そんな施設があったら、自然に客足も増えると思う。

【 2 班 】

○ 鹿児島中央高等学校 2年 松田大智

1. 「〇〇にやさしい」について

- ・リサイクルプラザを1人でも多くの方々に見学して頂くため、定期的な見学会を開催し、リサイクルプラザまでのシャトルバスを運行させること。
- ・天文館公園に、時間を知らせる音楽を流す“時報機”を設置すること。

以上の2点を提言いたします。

2. 子どもミーティングを終えて…

今回このような貴重な機会を設けてくださった関係者の方々に、まずは感謝の意を述べさせていただきます。私が最初、当企画を知ったときは、ぜひとも参加したい、という気持ちに一瞬でなり、即、参加のための必要事項を確認し、それを全て行い、今にいたります。私は将来、政治の分野に進みたく、当企画に参加できると分かった時、夢を1つ叶えたと感じました。最後に一言だけ欲を言わせていただきますと、ぜひとも市長に会いたいです。この市の首長の方に一度触れ、首長の人格や情といったオーラを間近で感じたいです。

○ 鹿児島女子高等学校 1年 清藤有愛

私はこの子どもミーティングに、2回しか参加することができませんでした。しかし、この短い間にもたくさん初めての体験ができました。第1回目では、他校の人の意見を聞き、そういう意見もあるのかと自分の意見を見直すことができました。第2回目では、リサイクルプラザと、市役所の屋上緑化を見学させていただき、天文館の私たちが行ったことのないところを歩いてまわりました。私は緑のカーテンは何度か見たことがありましたが、屋上緑化は初めて見ました。建物の屋上は何もなく、さみしい感じがしていたので、緑化で見た目もよくなり、あまりお金もかからないと思うので、すごく興味がありました。また、天文館公園や、全然行ったことのない通りにも行きました。目が届かないところにもたくさん改善点があり、これからも様々なところに目を向けていきたいと思いました。

○ 鹿児島純心女子中学校 3年 串間夢加

今回の子どもミーティングで、私は「環境とリサイクル」について話し合

いました。その中で、1番大切だと思ったのは、「人が集まる場所を作る」ことです。人が集まるということは、人にやさしい所だということだし、人が集まる場所には自然と花などが増えてきて、地球にやさしいところになります。だから、鹿児島島の公園や通りも、もっと人が集まる場所にしていきたいです。

鹿児島というところを、人にもモノにも地球にもやさしいところにするということを考えて、今回の子どもミーティングで沢山のことを学びました。自分ももっと色々なところに目を向けて、全てのものにやさしい鹿児島がくれたらいいと思います。

最後に、私は「人が集まる所」をつくるべきだと提言します。

子どもミーティングの関係者の方々、ありがとうございました。

○ 吉野中学校 2年 宮原和暉

僕が子どもミーティングを終えて思ったことは、地面が少ないということです。ほとんどの道がアスファルトでできていて、土でできているところが少なかった。そのせいで気温が上がっていると思う。また、全ての街灯を太陽光発電にしたら、もっとコストを削減できるような気がする。

次に、公園のつくりをもう少し工夫すればいいと思う。幼児しか使わないような公園でなく、中学生なども楽しめるようにしたら、その公園を中心に地域が明るくなると思う。

僕が1番に提言したいのは、ゴミの出し方に関することだ。ルール違反などをする人も多く、リサイクルがスムーズに行われたい。だから、1ヶ月ルールを守ったら何かプレゼントをするなどしていけばいいと思う。

○ 伊敷中学校 2年 中島将武

今回の子どもミーティングに参加してみて良かったと思っています。最初はちゃんとできるか不安でしたが、4回という短い間で少しは成長できたと思います。

リサイクルプラザは、今まで行ったことがなくて一度は行きたかったので、行けて良かったです。包丁や注射器などが一緒に捨ててあるのにはびっくりしました。映像で働いている人を見ると、すごく大変なんだなと思いました。

見学したあと紙にまとめるのも大変でしたが、このような経験をしたことは、これからの学校生活でも生かせそうなので、生かしていきたいと思います。子どもミーティングを勧めてくれた学校の先生に感謝したいです。

○ 皇徳寺中学校 2年 金田 皓 旭

今回、子どもミーティングでたくさんのことを学びました。このような機会がなければ気づかなかったことに、気づくことができました。初めは、何をするのかとドキドキしていました。同じグループの人とも全員初対面で、とても緊張しました。でも、回を重ねることによって、気付いたら打ち解けていました。子どもミーティングの目的は「まちづくり」ですが、他校との交流も目的であったのでしょうか。

さて、今回の子どもミーティングでは、たくさん意見が聞けました。普段何気なく過ごしているこの町も、よく見ると、工夫が施されているところや、もっと工夫したらいいところがたくさんありました。その、もっと改善すべきところを見つけ、住みやすい町にするために多くの意見を提言しました。僕たちの提言により、この町がもっと住みやすくなることを願います。今回は、子どもミーティングに参加できてとてもよかったです。そして、とても楽しかったです。

○ 清水中学校 2年 若井 向日葵

私は、今回の子どもミーティングを通し、多くの事を学びました。実際に探検をして感じたのは、子どもから年配の方まで、みんなが笑顔でいられるまちが1番だなということです。バリアフリーにして、転んだり歩きにくいという悩みを解消させたり、疲れたらゆったり座れる大きなベンチを置いたりする…このような配慮がもっとあれば、もっと輝いている町になるのではないのでしょうか。

環境の点から考えれば、リサイクル用の箱をゴミ箱と一緒にどんどん設置していくことや、工夫した配置で緑を増やして、決してうっそうとして中が見えないような場所をつくらないことなども大切だと思います。また、きれいなお花があれば、より自然に親近感を覚える人が増えるかもしれません。

清潔で、人や環境、モノにやさしい町。デパートなどのお店や移動手段などもしっかりそろっているが、自然も尊重し、緑と共存する。そのような鹿児島になってほしいです。

○ 鹿大附属中学校 1年 大角 早代

わたしは、いろんな人の個性が輝いていて、人・モノ・地球にやさしく、あいさつ日本一の市になってほしい。この子どもミーティングを終えて、そ

う思った。

わたしの周りには、いろいろな個性をもっている人がいっぱいいる。その個性がもっと輝いたら…きっとすてきな市になる。

人・モノ・地球にやさしいというのは、今回わたしたちがテーマとしたものである。班の人と話し合っ改善点を見つけ、そのためには…という提案をした。たとえその提案に沿わなくても、改善できたら市が今よりもっと良くなると思うし、何より自分がうれしい。

あいさつ日本一の市というのは、あいさつをする回数が増えるたびに笑顔が見られる場面が多くなると思ったからだ。だれもが笑顔になる唯一の共通点じゃないかと思う。ケンカをしても翌日あいさつを交わせば仲直りという場면을何回も目にした。

鹿児島市がすてきな市になってほしい。

【 3 班 】

○ 皇徳寺中学校 2年 麻生和宏

今回、僕は「鹿児島が若者にとって魅力のある街であるためにはどうしたらよいか」という目標を立てて、この子どもミーティングに参加しました。

まず、第1回目はグループに別れて話し合いをしました。第2回目には実際に街を探検して、さまざまな情報を得ました。そのなかで、中央駅や天文館など「ここはいいな」「ここはこうした方が良いのでは」などと、メンバーからたくさんの意見や要望がでました。第3回目にはそれまででた意見をまとめて、第4回目で発表しました。

この子どもミーティングに参加して、多くの事を学びました。それは、鹿児島の街の素晴らしさ、皆で協力することの大切さ、発表することの楽しさなど、普通に生活していても、あまり経験できないようなことでした。4回という短い回数でしたが、参加してとても良かったです。ここで得た体験を、ぜひいろいろな場面で生かしていきたいと思います。

○ 鹿児島中央高等学校 2年 松田慶五

来年は受験のため、最初で最後の子どもミーティングとなってしまった。最初の自分の勝手なイメージでは、高校生と中学生の比は同等だと思っていたが、中学生が中心だった。

そして、何よりも最大の悔いを残してしまった。それは、森市長に直接会うことができなかったことだ。我々の市長に4回中1回も会えなかったのは、とても悲しい。とても残念。自分の一生で、現役市長である森市長に直接会えることは果たしてあるだろうか。

でもこの企画は、自分の人生でいい経験となった。

○ 鹿児島女子高等学校 1年 橋あやか

天文館はたくさん歩く場所であるが、そのわりに休憩する場所がないと思うので、道のところどころにベンチなど休める場所をつくらいいと思う。

子ども連れの親も、その方が便利でいいと思う。

○ 鹿児島玉龍中学校 3年 竹ノ下 響 生

今回の子どもミーティングを通じて、今まで知らなかった鹿児島の小さなところまで、くわしく知ることができました。

ぼくたちの班では「観光客が来なくなる町づくり」がテーマでした。

実際にいろいろなところに行ったり、班のメンバーと話し合い意見を出し合ったりすることで、普段は考えないようなアイデアも出てきました。

いつもはできないような体験ができたので、本当によかったです。

これからは、学校の友達にも伝えていきたいです。

○ 鹿児島純心女子中学校 3年 坂 口 歌 那

子どもミーティングを終えて、班ごとで出された提案が本当に実行できたらしいなと思います。子どもミーティングで学んだことは、意見や思っていることを提言するということと、鹿児島のために役立つことなどを話し合うということです。

新幹線が開通しましたが、指宿などの薩摩半島には観光客が来ますが、大隅半島には新幹線の影響がないため観光客が来ないそうです。なので、大隅にも観光客が足を運ぶような提案があったらいいと思います。そういう提案が実際に実行されたら大隅半島の人たちも喜びますし、大隅にもこんなところがあるんだと知ってもらえるチャンスになる気がします。具体的にこんな提案というのは無いのですが、そういうことをまたミーティングで話し合うのもいいと感じました。

今回のミーティングに参加できて本当に良かったです。いろいろとサポートして下さった皆様、ありがとうございました。

○ 西紫原中学校 2年 伊 東 佳 穂

私は、この子どもミーティングを終えて、鹿児島を他県に自慢でき、誇りを持てるまちにしたいと思いました。だから、鹿児島は観光に力を入れるべきだと思います。

子どもミーティングで私の班は観光について話し合いました。観光客が楽しめそうなアイデアがたくさん出る中、あったらいいと思うものが2つありました。1つ目は、「白熊」の自動販売機です。観光客の多い空港や駅の自動販売機コーナーや休憩所の近くにおけば目につきやすいと思うし、夏ならば観光客以外でも利用客がとて多くなると思うからです。2つ目はお茶が出てくる水道や冷水機です。鹿児島はお茶の生産が全国第2位です。これはと

でも誇れることです。愛媛県で水道からみかんジュースが出てくるように、鹿児島もまねすればみんなが楽しくなると思います。このような物があれば、鹿児島は観光客のたくさん来るにぎやかで楽しいまちになると、私は思います。

○ 伊敷中学校 2年 野田 佳奈映

私はこの子どもミーティングに参加して、まちに対する考えが変わりました。

以前は何も考えず何気なくまちを歩いていただけで、実際いろんなことを気にしながら歩いてみると、少しでも多くの人を楽しませる工夫がいっぱいあることに気付きました。さらに、もっと便利になるようにとかもっとおもしろくとかテーマを定めてみると、たくさんアイデアが出ました。自分以外の同年代の人たちの考えを聞くことができ、とても刺激になりました。とてもおもしろいアイデアがたくさん出て、「これが本当にまちにあったら、もっとまちに出たくなるんだろうな」と思いました。

まだまだ工夫できる点はいくつもあるし、「不便だな」と思う点もいくつかあります。よりよい鹿児島になるように変わるのを楽しみにしているし、変えるためのお手伝いもしていきたいと思いました。この夏休み、こんな貴重な体験ができてとてもうれしかったです。

○ 鹿大附属中学校 1年 小牧 優大

僕の提言は3つです。1つ目は、主に観光をする人というのは老人が多いと思うので、「街に足湯を数ヶ所設置し、足湯めぐりにする」です。広い天文館で歩きつかれた老人が足湯に入ること、いやされて、次の足湯にまた行きたくなるという考えです。鹿児島は温泉県なので、そのアピールもできていいと思います。又、1つ1つの効能も違うとさらにいいと思います。

2つ目は、子どもから大人まで楽しめる街にしたいので、「歩道の地面に、特産物や偉人の絵をかいたらいい」と思います。鹿児島の特産物や偉人の絵について、絵を見て興味をもってもらえたらいいです。

3つ目は、「鹿児島ミシュランガイドを発行する」です。初めて鹿児島に来た観光客は、特産物は知っていても、店は知らないと思います。鹿児島の店が格付けされていたら、観光客も店が選びやすいと思います。

僕だけの意見でなく、子どもの意見を市政に生かしてもらって、もっとよい鹿児島にしてほしいです。

6. 子どもミーティングに寄せて

鹿児島市の「子どもミーティング」は、次のような目的で設けられました。

国際連合の「子どものための人権宣言」では、子どもの年齢を18歳以下とし、そのいろいろの権利を守ることを各国に求めています。その権利の一つに子どもが自分の意思を表明する権利があります。

従来、国家の政治や地方自治体の行政に対しては、大人には、多くの場で意見を述べる機会があり、地方自治体もそれを行政に反映させ、実施に移すことが可能でした。しかし、子どもに関しては、その意見が行政に生かされることはほとんどありませんでした。

最近では、各地方自治体もこの欠落に気付き、「子ども会議」や「子ども市議会」や「まちづくり子ども会議」などの名称のもとで、行政に子どもの意見を反映させる試みが増えてきました。このような流れを先取りする形で、鹿児島市では昨年度から、「子どもミーティング」が開催されました。子どもの意思表明を自分の住む共同体に向けてしてもらおうという試みです。

「子どもミーティング」の意義は、子どもたちが子どもの眼で見た市政の問題点を、市に対して発言することにあるのはいうまでもありません。そのこととともに、子どもが自分の意見を持ち、それを口頭で、あるいは文章表現で、場合によってはイラスト等の表現手段で、明確に社会に向けて発信する能力を、修得していくという教育的な意義もあります。また、将来どういふ社会で生活するにしても、自分の住む共同体の仕組みに興味を持ったり、疑問を感じたりするという、社会性を身につけていく意味もあります。

昨年に引き続き、夏休み中の炎天下で、子どもたちは街並みや施設や設備などを見学し点検し、その結果をレポートにまとめてくれました。おそらく市の方ではこれを検討し、可能なかぎり実現に移してもらえるものと考えます。

まだ緒についたばかりですが、この試みが子どもの眼による街づくりに役立つものと信じています。

子どもミーティングコーディネーター 石田 忠彦